

24.テートモダン



ロンドンミレニアムプロジェクトの目玉として、テートモダンは2000年にオープンした。それまで、ニューヨークやパリに近代美術館整備を先に越され、ロンドンのプライドもかかった一大プロジェクトであった。セントポール大聖堂のテムズ川対岸という象徴的な元発電所を改造した国際コンペを勝ち取ったヘルツォークドムーロンの設計。ガラスの箱を乗せテムズ川から象徴的なシンボリックにそびえたっている。その裏に2016年にオープンしたのが通称「スイッチハウス」。2000年オープンの「ボイラーハウス」とともに多くの人に親しまれている。スイッチハウスは30万個のレンガを積層した特徴的な外観にスリット窓を入れるという手法で構成されている。設計当初はガラスの外観が構想されていたが、周辺の反対もあり現在の煉瓦となった。内部は作品と動線が曖昧な見る人が参加することを意図され、コンピューターによる避難解析を行い、内部空間が構成されている。

テーマごとや時代ごとに設定された展示物などが特徴で、インスタレーションスペースが設けられるなど柔軟に利用されている印象だった。

事前情報で得ていた「スイッチハウス」の避難構成など日本のそれと比較し少し不安を覚える印象だった。

小柳 実